



# 獨樂会



姫路獨協大学

## オープンキャンパス2011

- 8/21(日) 10:00~15:00
- 9/11(日) 13:00~16:00
- 10/16(日) 10:00~16:00
- 11/20(日) 13:00~17:00

ミニ講義、キャンパスツアー、相談コーナー、学食体験など魅力的な内容をご用意しておりますので、ぜひご参加ください。詳細は姫路獨協大学HP (<http://www.himeji-du.ac.jp/>) をご覧ください。

## 2011年 志湧祭

- 10/15(土)
- 16(日) 同窓会総会・オープンキャンパス同時開催

この度の東北地方太平洋沖地震に際しまして、亡くなられた多数の方々のご冥福を祈念し、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

Himeji Dokkyo University Alumni Magazine

**姫路獨協大学同窓会報** 2011.8.10 Vol.28

姫路獨協大学同窓会事務局 / 〒670-8524 姫路市上大野7-2-1 TEL & FAX.079-223-9263  
URL <http://www.hdud.gr.jp> E-mail [honbu@hdud.gr.jp](mailto:honbu@hdud.gr.jp)

## 姫路獨協大学 ファミリー制度 導入!!

このたび、同窓生に向けた新たな入学支援制度としてファミリー制度を導入することとなりました。この制度は、「本学創設以来25年を迎え、本学卒業生の中には、お子さまが大学生になろうとする方もいらっしゃる。ぜひ同窓生のための新たな制度を導入してほしい。」との同窓会の要望が実現されたものです。2親等以内の親族が、本学を卒業、修了または在学している方を対象として入学後に20万円を奨学金として支給する制度が、2012年度入学者から適用されることとなりました。

また、この制度以外にも、特待生制度や、遠隔地予約奨学生制度、地域連携指定高等学校制度（薬学部のみ）などを設け、経済面においてもバックアップの充実を図っていきます。

詳細については入試センター（☎079-223-6515）へお問い合わせください。

### ●ファミリー制度

学部	内容	区分	資格など
全学部	入学後、申請された方に20万円支給	給付	2親等以内の親族が本学を卒業、修了または在学している方が対象

### ●地域連携指定高等学校制度（薬学部）

将来、薬剤師として地元播州地域で活躍しようとする学生を支援し、地域医療の発展と健康福祉に寄与することを意図した制度です。

学部	内容	区分	資格など
薬学部	入学年度授業料相当額の1/2 2～6年次の授業料相当額の1/4	学費免除	播州地域内の高等学校から本学薬学部に入学した者（現役生に限る）

※2年次以降は、継続審査は行いません。6年間学費免除されます。

### ●遠隔地予約奨学生制度

入学試験の出願前に選考を行い、入学後の奨学金給付をお約束する制度です。

種類	内容	採用人数	区分	支給期間	資格など
I種	年額48万円 対象地域:沖縄県・北海道	50名	給付	4年間 (薬学部6年間)	家計支持者が申請時に対象地域に住所を有し入学後も引き続き対象地域に居住する者及び学業に優れ経済的理由のため修学が困難であると認められた者
II種	年額24万円 対象地域:近畿2府4県以外				

※2年次以降は、継続審査を行うことがあります。

## ごあいさつ 同窓会副会長 森原 紳太郎(法律学科/平成3年卒)



東日本大震災により被災されました同窓生とその関係者及び獨協学園関係者の皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧と皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

さて、最近の同窓会の活動状況を報告いたします。3月25日には恒例の卒業パーティーを大学と校友会と共催で企画して、ホテル日航姫路で卒業生の門出と同窓生の仲間入りを祝いました。4月には獨協学園より全獨協関係者に、東日本大震災の義捐金の呼びかけがあり、本会も運営委員会で協力することを決定し、4月19日付で義捐金募金をいたしました。

そもそも、本同窓会が本格的に活動を始めたきっかけは、大学が1995

年の阪神淡路大震災で被災した卒業生の安否確認をしたかった事に始まります。ですので、本会がこの度の震災の復旧に微力ながらも協力する事は、大切なことであると考えます。

話は変わりますが、次に嬉しいお知らせがあります。

かねてより、本会から大学に要望しておりました卒業生と修了生の保護する子女が入学した時の特典が、来年度の入学生から「ファミリー制度」として実現する事になりました。

1991年に1期生が卒業してから20年経過しましたので、そろそろ「親子で姫路獨協」もありだと思えます。ファミリー制度は同窓生の兄弟や親も対象となりますので、あわせてご利用のご検討をお願い申し上げます。

最後に、母校は校舎の増設新設もありましたが、大きくは変貌していませんので、久しぶりに懐かしい姫路と母校に是非とも足をお運びください。

## 同窓会（獨楽会）総会と懇親会のご案内

第15回同窓会総会を志湧祭の日程に合わせて、10月16日（日）に開催いたします。総会終了後には、恒例の懇親会も予定しておりますので、まだご参加されたことのない方も是非ご来場ください。出欠のお返事は同封のハガキまたはEメール（honbu@hdud.gr.jp）、FAX（079-223-9263）にて、10月6日（木）までに事務局へお寄せください。

■日時 平成23年10月16日（日）

・総会／11時～  
・懇親会／12時～

■会場 姫路獨協大学本部棟西館 5階 第1会議室  
(正面玄関向かって左の建物)

■議題 第14期事業報告および決算

第15期事業報告および予算 他

■参加費 無料



# 知らなかったら損しちゃう？ ナットク!! 誌上講義



このコーナーでは、同窓生の皆さんの日頃の疑問に  
本学各学部いらっしゃる専門の先生方に答えていただきます。  
日常生活、ビジネス、法律、育児など、何でも構いません。  
皆さんからの質問を同窓会事務局までお寄せください。



今回は、今や生活に欠かせないインターネットにまつわるお話を、経済情報学部の佐野智行教授にお聞きしました。  
インターネットは便利な道具ですが、皆さんの大切な情報を流出させないためにも、正しく理解して活用するようにしましょう。

## インターネットを利用するとき…

最近のパソコンはWebの閲覧やメールなどを利用するために、インターネットへ接続されています。この状態でウイルスに感染すると、コンピュータ内のデータを消されるだけでなく、重要な情報が外部に流出する可能性があります。データを消された場合は再インストールをすることで元に戻せますが、情報流出の怖いところは、一度流失した情報を回収できない点です。

個人情報が出流しないようにするためには、様々な注意がありますが、私が注意している点を参考にいただければと思います。

(1) ウイルスへの感染: ウイルスに感染することで様々なデータを盗まれる可能性がありますので、必ずアンチウイルスソフトをコンピュータにインストールしてください。

(2) ネットワークの共有機能: WindowsやMacに標準で用意されている「ファイル共有」を使用するときには、公開する相手とパスワードの設定に注意してください。また、自分が使用しているコンピュータに、家族がWinnyやShareなどのP2Pソフトをインストールしていることに気が付かず、仕事上のデータが流出する事件が起きています。これを防ぐためには、不必要なソフトをインストールしないことと、ファイアウォールの設定を強化してください。

(3) 個人情報の登録: 街角でアンケートを求められたとき、見ず知らずの人に自分の住所や電話番号を教える人は少ないと思いますが、インターネットの懸賞などでは安易に情報を入力してしまう場合があります。信用できるサイトであるかを確認してください。

(4) 自宅外でのネット利用: インターネットカフェなどでは、キー入力を記録するソフトウェアなどがインストールされている可能性があるため、銀行などの重要な取引は控えたほうがよいでしょう。また、ホテルのインターネット接続もホテル内が一つのネットワークになっているので、ノートパソコンでファイル共有をしている場合は共有を中止するなどの注意が必要です。

(5) メディアの紛失: USBメモリなどのメディアを紛失すると、拾得者から情報が流出する可能性があります。重要なファイルにはパスワードをかけるか、セキュリティエリアを持っているUSBメモリなどを使用する

ことをお勧めします。

インターネットは、使用しているコンピュータだけでなく、その先に現実の世界が広がっています。そのことを忘れないようにしてインターネットを活用してください。

## Facebookとは?

今年公開された映画『ソーシャル・ネットワーク』の中で取り上げられていたのがFacebookなので、名称を聞いたことがある人も多いと思います。

FacebookはSNS (Social Network Service) と呼ばれるシステムの一つで、アメリカの学生の間から広まり、Webページが日本語化されたことや映画の効果などで、日本でも利用が広がり始めています。ちなみに、日本で利用者の多いSNSはmixiで約2000万人の登録者がいます。

本名登録の義務があり、実社会との連携が取りやすいので、ビジネスの分野では名刺の代わりに使っている人がいます。名刺では所属や名前を知らせることはできますが、経歴などの詳細は書ききれません。そこで、Facebookの中に経歴や趣味など記載しておき、相手に見てもらうことで自分のことを知ってもらうことが可能になります。

また、登録した友達の友達や、同じ趣味を持つ人の紹介があるので、連絡が途絶えていた昔の友人と連絡を取れるようになったり、新たな出会いが生まれる場合があります。さらに、mixiと違い海外でも利用されているので、海外でのビジネスにも生かれます。

ただ、自分の交友関係などを知られたくない相手に知られてしまったり、様々な個人情報を第三者に利用されてしまう可能性があります。情報の公開範囲については注意が必要です。Facebookでは本名登録が義務化されていますが、成りすましの可能性がありますので、初めに本人の確認をした方がいいと思います。さもないと、全く面識のない人に情報を公開してしまうことになります。

また、従来は情報を発信するのに自宅のコンピュータなどを使っていたため、「この情報を発信して大丈夫か?」と、考える時間的余裕がありましたが、スマートフォンの普及により、すぐに情報を発信できるようになりました。自分では問題ないと思っても、当事者にとっては問題となる情報を発信してしまったことで、様々な問題が起きています。発信して大丈夫な情報であるかを、関係する人たちに確認することを心がけましょう。

Facebook以外にも、趣味や地域ごとに沢山のSNSがあります。これらのSNSは便利なシステムですが、メリットだけでなくデメリットもありますので、公開する情報に注意をして、有効利用してください。

(経済情報学部 佐野智行教授)

